神戸市が目指す保健師像

市民の健康を守るため、健康課題を解決する力を磨き続ける保健師であることを目指しています。そのため、知識、感性、経験により適切な状況判断ができる能力を磨いて、保健師の総合力を身につけられるよう人材育成に取り組んでいます。

人材育成について

1年目保健師には、先輩保健師がプリセプターとしてつき、1対1で相談しやすい関係をつくりながら、仕事を覚えていけるような体制をとっています。1～3年目のうちはトレーナー保健師であるOB保健師等と、ケース対応の計画から面接・訪問同行、実施後の振り返りを行うことで、保健活動から必要な知識と技術を習得することができます。新任期・中堅期・主任期・管理期など、経験の各段階に応じた人材育成計画を策定し、「保健師キャリアラダー」を用いて、人材育成に取り組んでいます。また、各職場で保健師が自分のキャリアや業務について上司と確認しあえるよう定期的に面談し、所属内の保健師が団結して仕事に取り組めるような環境づくりを行っています。

保健師人材育成体系

（新任期のみ抜粋）

		1年目	2年目	3年目
OJT	グループ制	中堅期・主任期を交えた「地域担当グループ制」により、フォロー体制を構築する。		
	指導保健師	プリセプター		
	トレーナー保健師	トレーナー保健師から必要に応じて、指導を受ける。		
Off JT	所属面談	＋役割・目標シート キャリアラダー	＋役割・目標シート キャリアラダー	＋役割・目標シート キャリアラダー
	研修体制	＜1年目研修＞ 配属時 ▼ 配属1－2ヶ月後 ▼ 配属6ヶ月後	＜全保健師対象の研修＞ キャリアや業務経験にあわせて受講 ・業務別研修：配属先の業務に関する研修 ・所属内の事例検討会／地域診断 ・全保健師共通テーマの研修　等	

KOBE
神戸市行財政局人事課
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館13階

お問い合わせ先
神戸市お問い合わせセンター（年中無休8時～21時）
電話 0570-083-330 または 078-333-3330
FAX 078-333-3314

メールでの問い合わせはこちら

職員採用ホームページ
市政・仕事紹介、主要プロジェクト、ワークスタイル、試験内容などを掲載しています。

神戸市職員採用X（旧 twitter）
@kobe_saiyou
試験や説明会など、神戸市職員採用に関する情報をお知らせしています。

2026年7月発行

こどもっと KOBE

BE KOBE
神戸は、人の中にある。



保健師 職務ガイド

母子保健、成老人保健、福祉、精神保健福祉、感染症などの幅広い分野から神戸市民の健康をサポートする「保健師」として、専門知識を活かしていきませんか。

保健師の仕事

神戸市は指定都市として保健所と市町村保健センターの両方の機能を持っており、各区役所(10区役所、1支所)は保健所・保健センター、福祉事務所の機能も持っています。
区役所では、複数のメンバーで地域を担当する“地域担当グループ制”をとり、家庭訪問や健康教育などの手段を使いながら市民の支援を行っています。また、健康づくりグループ、地域の関係団体、保健福祉関係機関、民間企業、大学など様々な人々と積極的に連携しながら、市民の健康を守る仕組みづくりを行っています。
市役所(本庁)では、保健福祉政策に関する計画策定、施策・事業の企画調整、評価、市会の対応なども担っています。

区役所勤務

区役所の保健福祉課で保健業務を実施しています。母子健康手帳の交付や乳幼児健康診査などの母子保健、成老人保健、感染症などの幅広い分野の業務を行い、出産前から高齢者までの健康を守る役割を担っています。

市役所(本庁)での保健業務＜家庭支援課の場合＞

市役所(本庁)にて母子健康手帳や産後ケア事業など、母子保健事業関連の制度作りを担当しています。乳幼児健診や多胎児家庭支援などの母子健康事業を中心に、神戸市における切れ目ない妊娠・出産・子育て支援に取り組んでいます。

コラム“神戸での暮らし”



時間単位の休暇を取得してヴィッセル神戸の試合を観にいくこともあります。ヴィッセル神戸のファンとしてスタジアムへのアクセスの良さも、神戸市で働く魅力の一つです。

神戸市は都心、住宅地、農村地域といくつもの顔があり、それぞれの地域の特性に合わせた活動ができるのが大きな魅力だと思います。休日にはサイクリングで神戸の自然を楽しんでいます。



01

区役所勤務





垂水区保健福祉部
保健福祉課

佃 郁実

「コミュニケーションを大切にしながら、人の役に立ちたい」という想いから保健師へ。大学生活を通して神戸市に愛着を持ち、神戸市役所でのキャリアを選択。多くの人と関わりながら、日々学びのある環境にやりがいを感じている。

地域担当グループ制だからこそ、何でも相談しやすい職場に居心地の良さを感じます。

コミュニケーションが活発で、気軽に周りの人に相談できる職場の温かい雰囲気が魅力的です。
複数の保健師でグループ制をとり地区を担当しているため、ひとりで対応しきれないことがあっても、職員と力を合わせて解決することができます。これからもチームワークを大切に、日々の業務や先輩方からの指導を通して市民の健康を守り続けていきたいです。

8:45	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:30
メールチェック、電話・窓口対応	個別支援ケースへの訪問	休憩	感染症の発生報告確認・施設への電話連絡	感染症発生報告があった施設へ訪問指導	訪問結果の記録と報告、明日の予定確認	

02

区役所勤務





長田区保健福祉部
保健福祉課

小南 ちひろ

「地域で暮らす人々を支えたい」という思いを原点に、病院看護師としてのキャリアを積んだ後、神戸市に入庁。区役所および本庁での業務経験を活かし、中堅期保健師として後輩の育成や保健活動の推進に主体的に取り組んでいる。



保健師として様々な経験をし、活動の幅の広さを感じています。

区役所や本庁での勤務をはじめ、災害派遣など多様な業務に携わってきました。そうした経験を通して多くの学びを得ながら、現在は中堅期保健師として、周囲の支えを受けつつ日々の保健活動に取り組んでいます。試行錯誤の連続ではありますが、保健師として関われる領域の広さや役割の重要性を実感しています。

8:45	9:30	12:00	13:00	16:00	17:30
課内朝礼 メールチェック	要フォロー児教室	休憩	母子フォローケース訪問 健診事後指導の訪問 関係機関訪問	記録入力・翌日の準備	

03

市役所勤務





こども家庭局
家庭支援課

丹 啓介

看護師である母の影響を受け、保健師を目指す。市内の大学での学びを経て地域での保健活動への関心が高まり、神戸市へ入庁。地域実情を直接観察し分析するフィールドワークに魅力を感じている。

多職種との連携を通して、広い視点で保健施策に携われます。

現在は異動前の職場では経験したことのない、多胎児家庭支援を担当。多胎児子育て教室に参加し、関係機関・団体や区役所保健師と連携しながら、より良い支援について一緒に考え、より良い企画となるよう取り組んでいます。
男性保健師の人数も少しずつ増えており、現在は私を含めて二桁になりました。男女問わず先輩方が気軽に相談に乗ってくれるので、安心して働くことができます。

8:45	11:00	12:00	13:00	14:30	16:00	17:30
メールチェック、多胎児家庭支援に関する連絡会	各区との連絡調整	休憩	乳幼児健診事業の打合せ	資料作成、電話対応	ホームヘルプサービスに関する定例会議、明日の予定確認	

04

管理職





須磨区保健福祉部
保健福祉課 係長

楠原 千絵

看護師としての経験を経て予防医学の重要性を痛感し、保健師として神戸市に入庁。区役所や本庁での勤務を経験した後、係長へ昇任。管理職として、課内をマネジメントしながらより良い保健活動への展開に努めている。



ライフスタイルに関わらず、長く成長し続けられる環境が整っています。

担当者の強みや弱みを把握しながら、業務が円滑に進むように指導しています。現場に一番近い管理職として、風通しの良い職場作りも大切な仕事です。職員と丁寧にコミュニケーションを取ることを大切にしています。また、子育てとの両立がしやすい制度も整っており、私自身も入庁してから産休・育休を取得しました。子育て中の職員も多く、お互いに理解、協力し合いながら働いています。

8:45	10:30	11:45	12:00	13:00	16:00	17:30
メール確認、課内の朝礼の後チームミーティング	ケースカンファレンス	決裁処理	休憩	乳幼児健診業務	乳幼児健診事後カンファレンス、明日の予定を確認	